

姫路市ウェブページに関する
ウェブアクセシビリティ対応基準書

令和5年(2023年)3月

姫路市役所 政策局 広報課

位置づけと適用対象

●位置づけ

姫路市が公開しているウェブページは、提供する情報やサービスを高齢者や障害者を含めた誰もが支障なく利用できるよう、ウェブアクセシビリティに十分配慮しなければならない。

平成 16 年 6 月に、ウェブアクセシビリティの JIS 規格「JIS X 8341-3:2004 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ」が制定され、その後、ホームページの制作技術の変化等を踏まえた 2 回の改正が行われ、平成 28 年 3 月に JIS X 8341-3:2016 として公示された。

姫路市ウェブページに関するウェブアクセシビリティ対応基準書(以下、本書という)は、JIS X 8341-3:2016 の 61 の達成基準のうち姫路市(以下、本市という)が対応するものについて、業者向けに作成の基準を定めたものである。

また、JIS X 8341-3:2016 の一致規格である国際規格の Web Content Accessibility Guidelines (WCAG)2.0 (ISO/IEC 40500:2012)は、2018 年に 2.1 が勧告され、新しい達成基準が追加された。今後 JIS X 8341-3 が改正される場合に、これらの達成基準が採用される可能性があることから、参考情報として本書に掲載した。

●適用対象

本書は、令和 5 年度以降に実施される姫路市公式ウェブサイトのリニューアル事業において作成される <https://www.city.himeji.lg.jp> 以下の全てのウェブページ(既存ページの移行を含む)に適用する。

また、本市が運営する <https://www.city.himeji.lg.jp> 以外の本市が作成・運営を委託している外部委託業者や指定管理者などが公開しているウェブサイトにも適用する。

●本書に示された対応基準の実現方法

リニューアル事業において、既存コンテンツに本書に示された対応基準を満たさないものがある場合、業者は該当箇所を洗い出し、本市に修正方法を確認した上で、修正を行い、公開する。

●達成方法について

本書は情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「WCAG2.0 解説書」「WCAG2.0 達成方法集」に基づき、構築において採用すべき達成方法を示している。本市が運営するウェブサイトは、本書が示す達成方法により実施する。

なお、「WCAG2.0 解説書」には、JIS X 8341-3:2016 の各達成基準を実現するための達成方法について本書で採用した以外の方法も説明されている。本書が示す達成方法では対応できないコンテンツがある場合には、「WCAG2.0 解説書」に示された方法から達成方法を追加することができる。達成方法を追加する場合は、本市に事前に相談の上で行なう。

また、WCAG2.1 については、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「WCAG2.1」「WCAG2.1 解説書」「WCAG2.1 達成方法集」を参照した。

●参照すべき規格及び文書

- JIS X 8341-3:2016
- WCAG2.0 解説書
(<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/>)
- WCAG2.0 達成方法集
(<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/>)
- Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.1 (日本語訳)
(<https://waic.jp/translations/WCAG21/>)
- WCAG 2.1 解説書
(<https://waic.jp/translations/WCAG21/Understanding/>)
- WCAG 2.1 達成方法集
(<https://waic.jp/translations/WCAG21/Techniques/>)

目次

位置づけと適用対象	1
目次	3
〔参考〕 WCAG2.1 で追加された達成基準一覧	5
ウェブアクセシビリティ対応基準	6
達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ	6
達成基準 1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）	12
達成基準 1.2.2 キャプション（収録済み）	13
達成基準 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）	14
達成基準 1.2.4 キャプション（ライブ）	15
達成基準 1.2.5 音声解説（収録済み）	16
達成基準 1.3.1 情報及び関係性	17
達成基準 1.3.2 意味のある順序	21
達成基準 1.3.3 感覚的な特徴	22
達成基準 1.3.4 表示の向き [参考：WCAG2.1]	23
達成基準 1.3.5 入力目的の特定 [参考：WCAG2.1]	24
達成基準 1.4.1 色の使用	25
達成基準 1.4.2 音声の制御	26
達成基準 1.4.3 コントラスト（最低限レベル）	27
達成基準 1.4.4 テキストのサイズ変更	29
達成基準 1.4.5 文字画像	30
達成基準 1.4.10 リフロー [参考：WCAG2.1]	31
達成基準 1.4.11 非テキストのコントラスト [参考：WCAG2.1]	32
達成基準 1.4.12 テキストの間隔 [参考：WCAG2.1]	34
達成基準 1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ [参考：WCAG2.1]	35
達成基準 2.1.1 キーボード	36
達成基準 2.1.2 キーボードトラップなし	37
達成基準 2.1.4 文字キーのショートカット [参考：WCAG2.1]	38
達成基準 2.2.1 タイミング調整可能	39
達成基準 2.2.2 一時停止、停止及び非表示	40
達成基準 2.3.1 3回のせん（閃）光、又はしきい（閾）値以下	41
達成基準 2.4.1 ブロックスキップ	42
達成基準 2.4.2 ページタイトル	43

達成基準 2.4.3	フォーカス順序	44
達成基準 2.4.4	リンクの目的 (コンテキスト内)	45
達成基準 2.4.5	複数の手段	47
達成基準 2.4.6	見出し及びラベル	48
達成基準 2.4.7	フォーカスの可視化	49
達成基準 2.5.1	ポインタのジェスチャ [参考: WCAG2.1]	50
達成基準 2.5.2	ポインタのキャンセル [参考: WCAG2.1]	51
達成基準 2.5.3	名前 (name) のラベル [参考: WCAG2.1]	52
達成基準 2.5.4	動きによる起動 [参考: WCAG2.1]	53
達成基準 3.1.1	ページの言語	54
達成基準 3.1.2	一部分の言語	55
達成基準 3.2.1	フォーカス時	56
達成基準 3.2.2	入力時	57
達成基準 3.2.3	一貫したナビゲーション	58
達成基準 3.2.4	一貫した識別性	59
達成基準 3.3.1	エラーの特定	60
達成基準 3.3.2	ラベル又は説明	61
達成基準 3.3.3	エラー修正の提案	63
達成基準 3.3.4	エラー回避 (法的、金融及びデータ)	64
達成基準 4.1.1	構文解析	65
達成基準 4.1.2	名前(name)、役割(role)及び値(value)	66
達成基準 4.1.3	ステータスメッセージ [参考: WCAG2.1]	68

[参考] WCAG2.1 で追加された達成基準一覧

本書に記載した達成基準のうち参考情報として記載している WCAG2.1 で追加された達成基準は、以下の 12 項目である。

達成基準 1.3.4 表示の向き	23
達成基準 1.3.5 入力目的の特定	24
達成基準 1.4.10 リフロー	31
達成基準 1.4.11 非テキストのコントラスト	32
達成基準 1.4.12 テキストの間隔	34
達成基準 1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ	35
達成基準 2.1.4 文字キーのショートカット	38
達成基準 2.5.1 ポインタのジェスチャ	50
達成基準 2.5.2 ポインタのキャンセル	51
達成基準 2.5.3 名前 (name) のラベル	52
達成基準 2.5.4 動きによる起動	53
達成基準 4.1.3 ステータスメッセージ	68

ウェブアクセシビリティ対応基準

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

【適合レベル：A】

- テキスト以外の情報について、以下の方法で代替する。

●画像

画像を提供する場合の原則

- 全ての画像には必ず alt 属性を指定する。

例)

```

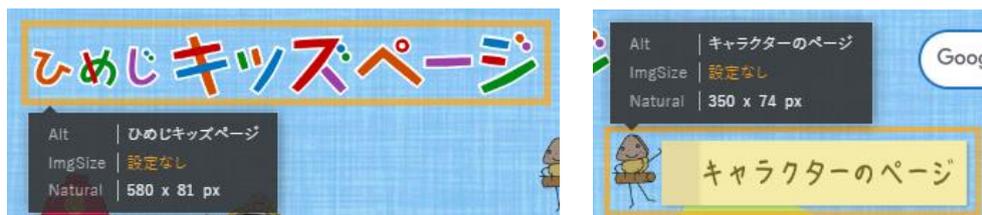
```

短い説明で代替が可能な画像の場合

- 利用者にとって情報として意味を持った画像は、情報の内容を alt 属性として指定する。

例)

テキストを画像化したものには、そのテキストの内容を指定



例)

マークで意味を伝えているリンクボタンなどには、マークが伝えている内容（例えば、索引 など）を指定



【WCAG2.0 達成方法】

G94: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、かつ同じ情報を提供する、簡潔なテキストによる代替を提供する

ARIA10: 非テキストコンテンツに対してテキストによる代替を提供するために aria-labelledby を使用する (ARIA)

G95: 非テキストコンテンツの簡単な説明を提供する、簡潔なテキストによる代替を提供する

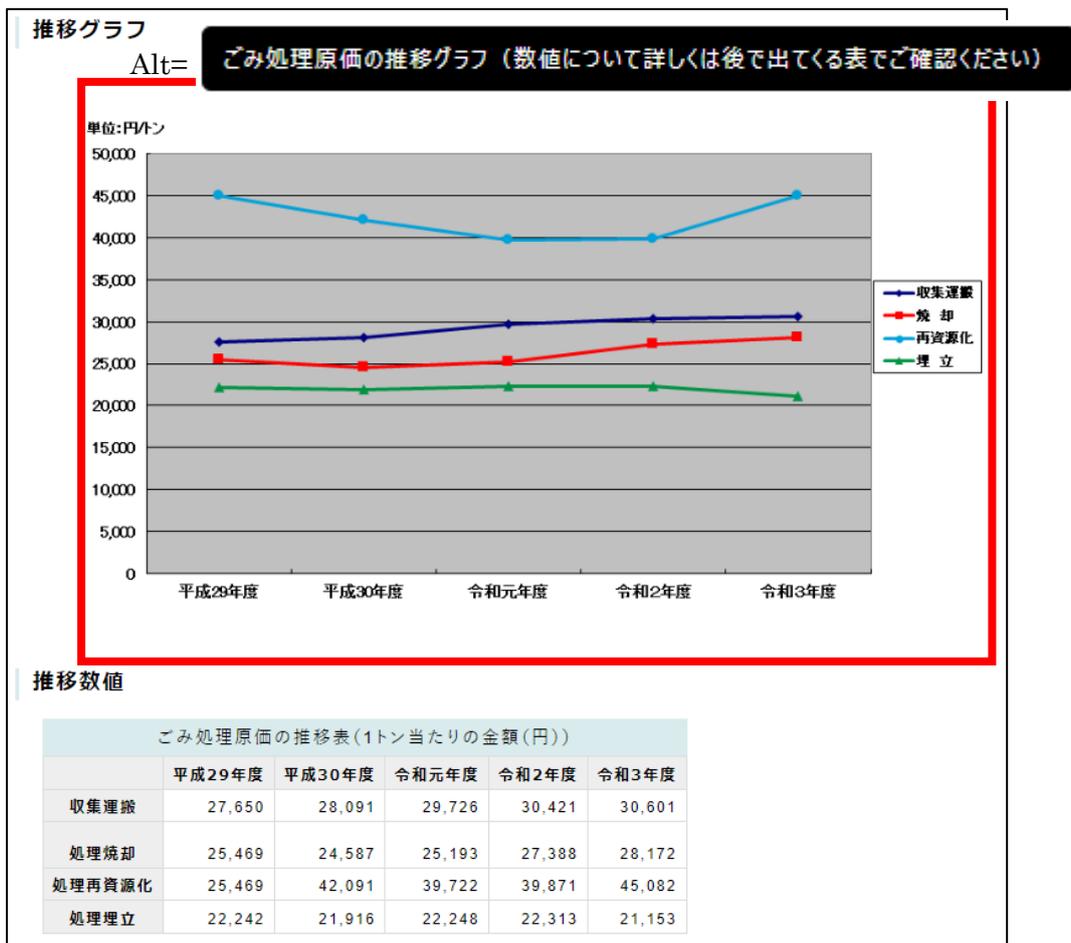
H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

複雑な説明が必要な画像の場合

- 複雑な説明が必要な画像の場合は、簡潔な名称や説明のみを alt 属性で指定し、完全な説明は、ページ本文内にテキストで配置する。

例)

グラフ画像、地図画像、長い文章や表を画像化したもの、フローやチャートを表した画像など



【WCAG2.0 達成方法】

- ARIA15: 画像の説明を提供するために `aria-describedby` を使用する (ARIA)
- G73: 非テキストコンテンツのすぐ隣に別の場所へのリンクを置き、その別の場所で長い説明を提供する
- G74: 短い説明の中で長い説明のある場所を示して、非テキストコンテンツの近くにあるテキストで長い説明を提供する
- G92: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、かつ同じ情報を示す長い説明を提供する
- H37: `img` 要素の `alt` 属性を使用する (HTML)

情報として意味のない画像の場合

- 情報として意味のない画像は、`alt=""`と指定する (ダブルコーテーションの中に何も書かない)。あるいは CSS から画像を読み込み表示する。

例)

配置を制御するための透明な画像、雰囲気表現しただけで特にテキスト化して伝える意味がない画像など



【WCAG2.0 達成方法】

- C9: 装飾目的の画像を付加するために、CSS を使用する (CSS)
- H67: 支援技術が無視すべき画像に対して、`img` 要素の `alt` テキストを空にして、`title` 属性を付与しない (HTML)

●リンク画像

- リンク画像の `alt` 属性には、利用者がリンク先のページの内容を想像できる言葉を指定する。具体的には以下の点に注意する。
 - リンク先ページのページタイトル(`title` 要素)や大見出し (`h1` 要素) の内容など、

リンク先ページの内容を代表するような言葉を用いる

- 画像だけにリンクが設定されている場合、alt=""とはしない
- 同じページへ移動するリンク画像とリンクテキストを隣り合わせで掲載する場合は、以下のとおりとする。
- リンクテキストには、利用者がリンク先のページの内容を想像できるような言葉を用いる
 - 両者を a 要素で括り一つのリンクとする
 - リンク画像の alt 属性は、alt=""と指定する（ダブルコーテーションの中に何も書かない）
 - HTML ではないファイルへのリンク、別ドメインサイトにリンクする場合のリンク画像の alt 属性の指定方法については、達成基準 2.4.4「文脈におけるリンクの目的」のページを参照

【WCAG2.0 達成方法】

H2: 同じリソースに対して隣接する画像とテキストリンクを結合する (HTML)

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

H30: a 要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する (HTML)

⇒補足) 上記の「テキストリンク」と「リンクテキスト」は同義です。

●送信／実行ボタンの画像

- type 属性が"image"である input 要素において、input 要素の alt 属性でボタンの機能を説明する。

例)

```
<input type="image" name="submit" src="****.gif" alt="送信" />
```

【WCAG2.0 達成方法】

H36: 送信ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する (HTML)

●CSS を用いた画像表示

- CSS を用いて画像を表示させるのは、装飾目的や背景画像の場合に限る。画像は重要な情報を伝えていないか、または画像が表示されない場合も利用者に情報が伝わるようになっている。

【WCAG2.0 達成方法】

C9: 装飾目的の画像を付加するために、CSS を使用する (CSS)

H67: 支援技術が無視すべき画像に対して、img 要素の alt テキストを空にして、title 属性を付与しない (HTML)

<WCAG 2.0 に適合しない事例>

F3: 重要な情報を伝える画像を付加するために、CSS を使用している

●マップ

- area 要素を使ってイメージマップを用意する場合は、マップの画像に alt 属性を指定するとともに、各 area 要素に対して利用者がリンク先ページの内容を想像できるような言葉を指定する。

【WCAG2.0 達成方法】

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

H24: イメージマップの area 要素にテキストによる代替を提供する (HTML)

●入力フォーム

- 入力フォームは、入力欄（選択欄）とその名称（ラベル）を、label 要素を用いて指定する。
- input type="checkbox"または input type="radio"の場合は input 要素の後に label 要素を配置する。
- キーワード検索機能の入力欄など、名称（ラベル）を表記することが視覚的なデザイン上、適当でないと考えられる場合は、title 属性を用いて名称（ラベル）を指定する。
- 送信あるいは実行等のボタン画像に alt 属性を指定し、適切な内容を記載する。

【WCAG2.0 達成方法】

ARIA9: 複数のテキストノードをつなげて一つのラベルにするために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素を使用する (HTML)

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

H36: 送信ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する (HTML)

●object 要素を用いる場合

- object 要素を用いる場合は、object 要素のボディに代替テキストを記述する。

例)

```
<object classid="http://xxxxxxx.xxx/xxxx">
```

```
<p>オブジェクトとその操作方法に関するテキストを書く。</p>
```

```
</object>
```

【WCAG2.0 達成方法】

H53: object 要素のボディを使用する (HTML)

達成基準 1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）

【適合レベル：A】

●収録済の音声しか含まないコンテンツ

- 音声で提供されている内容について同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【WCAG2.0 達成方法】

G158: 音声のみの時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

●収録済の映像しか含まないコンテンツ

- 映像で提供されている内容について同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【WCAG2.0 達成方法】

G159: 映像のみの時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

G166: 重要な映像コンテンツを説明する音声を提供する

達成基準 1.2.2 キャプション（収録済み）

【適合レベル：A】

- 映像内の音声で提供されている内容について、キャプション（発話以外の重要な音声情報を含む字幕）を提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【WCAG2.0 達成方法】

G93: オープン（常に見える）キャプションを提供する

G87: クローズドキャプションを提供する

H95: キャプションを提供するために、track 要素を使用する（HTML）

達成基準 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）

【適合レベル：A】

- 映像で提供されている内容について以下のいずれかの対応を行なう。
 - 同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する
 - 動き、登場人物、シーンの変化、画面上の文字に関する情報のうち、コンテンツを理解する上で重要かつ主音声での説明や話にない情報を、音声ガイドで提供する
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう

【WCAG2.0 達成方法】

G69: 時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

G58: 非テキストコンテンツのすぐ隣に、時間依存メディアの代替へのリンクを配置する

H53: object 要素のボディを使用する (HTML)

G78: 音声解説を含んだ、利用者が選択可能な副音声トラックを提供する

G173: 映像の音声解説付きバージョンを提供する

G8: 拡張音声解説が付いたムービーを提供する

G203: 話者が話すのみの映像を説明するために、静的なテキストによる代替を使用する

⇒補足) 上記の「メディア」「ムービー」「映像」は同義です。

達成基準 1.2.4 キャプション（ライブ）

【適合レベル：AA】

- ライブ（生放送、生中継）映像内の音声で提供されている内容について、キャプション（発話以外の重要な音声情報を含む字幕）を提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【WCAG2.0 達成方法】

- G9: ライブの同期したメディアに対してキャプションを作成する
- G93: オープン（常に見える）キャプションを提供する
- G87: クローズドキャプションを提供する

達成基準 1.2.5 音声解説（収録済み）

【適合レベル：AA】

- 映像で提供されている内容について、動き、登場人物、シーンの変化、画面上の文字に関する情報のうち、コンテンツを理解する上で重要かつ主音声での説明や話にない情報を、音声ガイドで提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【WCAG2.0 達成方法】

G78: 音声解説を含んだ、利用者が選択可能な副音声トラックを提供する

G173: 映像の音声解説付きバージョンを提供する

G8: 拡張音声解説が付いたムービーを提供する

G203: 話者が話すのみの映像を説明するために、静的なテキストによる代替を使用する

⇒補足) 上記の「映像」と「ムービー」は同義です。

達成基準 1.3.1 情報及び関係性

【適合レベル：A】

●共通する原則

- 配置や見映えは原則としてスタイルシートで指定する。
- HTML の非推奨要素、属性は使用しない。

【WCAG2.0 達成方法】

- ARIA11: ページのリージョンを特定するために ARIA ランドマークを使用する (ARIA)
- ARIA13: リージョンとランドマークに名前 (name) を付けるために、aria-labelledby を使用する (ARIA)
- ARIA16: ユーザインタフェース コントロールの名前 (name) を提供するために、aria-labelledby を使用する (ARIA)
- ARIA20: ページのリージョンを特定するために region ロールを使用する (ARIA)
- G115: 構造をマークアップするために、セマンティックな要素を使用する、かつ、H49: 強調又は特別なテキストをマークアップするために、セマンティックなマークアップを使用する (HTML)
- G117: テキストの提示のバリエーションによって伝えている情報を伝達するために、テキストを使用する
- G140: 異なる提示を可能にするために、情報と構造を表現から分離する

●ページ内の見出し

- 文書内の見出しは、見た目だけを太字などで見出しに似せるのではなく、見出しに相当する画像及びテキストに見出し要素 (h1～h6) を指定する。
- h1 要素はページタイトルに使用し、1 ページ内に配置できるのは1つだけである。

【WCAG2.0 達成方法】

- ARIA12: 見出しを特定するために role=heading を使用する (ARIA)
- H42: 見出しを特定するために、h1 要素～ h6 要素を使用する (HTML)

●ページ内の箇条書き

- 文書内の箇条書きは、見た目だけを“・” (中点) で箇条書きに似せるのではな

く、HTML の箇条書きの要素（ul、ol、dl）を指定する。

【WCAG2.0 達成方法】

H48: リスト又はリンクのグループに、ol 要素、ul 要素、dl 要素を用いる (HTML)

●表

- 表を作成する場合は、セルの結合は行わない。具体的には以下のような対応を行う。
 - 見出しセルが結合されている場合には以下のようにする
 - (1) 見出しセルが二行以上、または二列以上ある場合は、表を分割することを検討する
 - (2) セルの結合を解除し、各セルにそれぞれの見出しの内容を記述する。
 - データセルが結合されている場合には、セルの結合を解除し、各セルには同じ内容を記述する
- 表の読み上げ順序に十分配慮し、行と列の入れ替えなどが必要な場合は適宜行う。
- 表のセルの中に、新たな別の表を作らない。
- caption 要素で表題を指定する。(表の直前に見出しがあり、見出しの内容が表題を表しているような場合は指定しなくても良い。)
- summary 属性は使用しない。
- 表内の見出しに相当するセルには th 要素を指定する。
- 2つ以上の行見出し及び（または）列見出しのある複雑な表は、id 属性及び headers 属性を用いて、データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付ける。
- 上記以外の単純な表で、見出しが行方向に対する見出しか、列方向に対する見出しかあいまいな場合は、表内の見出しに scope 属性を用い、見出しとデータを関連付ける。(1行目や1列目に見出しがある単純なテーブルの場合は、th 要素が指定してあれば scope 属性による指定はなくても良い。)
- レイアウトを目的に table 要素を使用しない。

【WCAG2.0 達成方法】

- H51: 表形式の情報を提示するために、テーブルのマークアップを使用する (HTML)
- H39: データテーブルのキャプションとデータテーブルを関連付けるために、caption 要素を使用する (HTML)
- H63: データテーブルで見出しセルとデータセルを関連付けるために、scope 属性を使用する (HTML)
- H43: データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付けるために、id 属性及び headers 属性を使用する (HTML)

●フォーム

- フォームのラベルと対応するコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）を id 属性と label 要素内の for 属性により、関連付けを行う。
- Input type="checkbox"または input type="radio"の場合は input 要素の後に label 要素を配置する。

例)

```
<p>  
  <input type="radio" name="sex" value="ma" id="male">  
  <label for="male">男性</label>  
  <input type="radio" name="sex" value="fe" id="female">  
  <label for="female">女性</label>  
</p>
```

- キーワード検索のテキストボックスのように、ラベルとなりうるテキストを画面に表示する必要が無い場合や、ラベルを表示することで混乱を引き起こしてしまう場合は、title 属性を用いてコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の名称あるいは役割を示す。
- 複数のコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）で構成されるフォームは、fieldset 要素及び legend 要素を用いて、グループを明示する。
- セレクトメニューに含まれる選択肢について、関連する選択肢としてグループ化すべきものがある場合、optgroup 要素を用いて、select 要素内の option 要素をグループ化する。

【WCAG2.0 達成方法】

ARIA16: ユーザインタフェース コントロールの名前 (name) を提供するために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

ARIA17: 関連するフォームコントロールを特定するために、グルーピングロールを使用する (ARIA)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素を使用する (HTML)

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

H71: fieldset 要素及び legend 要素を使用して、フォームコントロールのグループに関する説明を提供する (HTML)

H85: select 要素内の option 要素をグループ化するために、optgroup 要素を使用する (HTML)

●情報の強調を表現する場合

- スタイルシートを用いて赤色の太字にするなど視覚的に強調を表現する。
- 視覚的に強調を表現することに併せて、em 要素あるいは strong 要素を用いて強調部分を指定する。

例)

<p>この申込みの締め切りは、11月14日です。</p>

【WCAG2.0 達成方法】

G115: 構造をマークアップするために、セマンティックな要素を使用する

H49: 強調又は特別なテキストをマークアップするために、セマンティックなマークアップを使用する (HTML)

G138: 色の手がかりを用いるときは必ず、セマンティックなマークアップを使用する

達成基準 1.3.2 意味のある順序

【適合レベル：A】

●レイアウト

- 情報の意味の順序と、スタイルシートを読み込まない状態での表示順序あるいは音声読み上げソフトでの読み上げ順序を一致させる。
- 視覚的な構成順序と HTML の構成順序を一致させる。

●表

- 音声読み上げソフトで読み上げた場合に、情報を適切に理解できるように表を構成する。(行列を入替えることにより情報を理解しやすくなる場合がある)

●文字間の調整等

- レイアウトの目的で、単語内にスペースを入れたり、改行 (br 要素) を指定しない。

悪い例) 令 和 4 年 度
議 事 録

【WCAG2.0 達成方法】

G57: コンテンツを意味のある順序で並べる

H34: インラインでテキストの方向を混在させるために、Unicode の right-to-left mark (RLM) 又は left-to-right mark (LRM) を使用する (HTML)

H56: 入れ子になったテキストの表記方向に伴う問題を解決するために、インライン要素の dir 属性を使用する (HTML)

C6: 構造を示すマークアップに基づいてコンテンツを配置する (CSS)

C8: 単語内の文字間隔を調整するために、CSS の letter-spacing を使用する (CSS)

C27: DOM の順序を表示順序と一致させる (CSS)

達成基準 1.3.3 感覚的な特徴

【適合レベル：A】

●情報の内容や対応関係を形で区別する場合

- テキストで情報内容や対応関係を補足するなど、形の識別がつかない場合でも、対応関係が理解できるようにする。
 - ○×△などの記号だけで意味を表す場合、「○（予約可）」のように補足する
 - 画像の形で機能の違いを表す場合、画像の示す意味を alt 属性で指定する

○…空き有り △…残りわずか ×…空き無し

	1月	2月	3月
施設A	×	×	○
施設B	×	△	○

空き有り

●情報の内容や対応関係を位置で区別する場合

- テキストで情報内容や対応関係を補足するなど、位置の識別がつかない場合でも、対応関係が理解できるようにする。
 - 「右上の画像は・・・」というように、位置で説明を行う場合、「右上の・・・という画像は・・・」と補足する

【WCAG2.0 達成方法】

G96: 理解させる必要のあるアイテムを感覚的にだけ伝えるのではなく、テキストによる識別情報もあわせて提供する

達成基準 1.3.4 表示の向き [参考：WCAG2.1]

【適合レベル：AA】

● **表示の向きを制限しない**

- 画面の表示及び操作を、スマートデバイス（スマートフォンやタブレット端末など）のポートレートモード（縦向き）又はランドスケープモード（横向き）などの単一の向きに制限しない。

● **ページの向きを固定する場合**

- 利用者が表示の向きを変更できるように操作ボタン等を用意する。

【WCAG2.1 達成方法】

G214: 別の方法で制限されている、異なる向きのコンテンツへのアクセスを許可するコントロールを使用する

達成基準 1.3.5 入力目的の特定 [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : AA】

●利用者に関するデータを要求する入力フォームを掲載する場合

- 入力フォームにはフォームの目的に沿って適切な `autocomplete` 属性を設定する。

例)

利用者が氏名や郵便番号、住所、電話番号、などを入力するフォームに対して、`autocomplete` 属性を設定することで、利用者のブラウザに保存されている自動入力の値がそれぞれ自動入力できるようにする。

●参考情報

- 「Web Content Accessibility Guidelines2.1」では、利用者に関するデータとして入力目的を特定する情報の例を一覧として掲載している。
 - 「7. ユーザインタフェース コンポーネントの入力目的」
(<https://waic.jp/translations/WCAG21/#input-purposes>)

【WCAG2.1 達成方法】

H98: HTML 5.2 `autocomplete` 属性を使用する

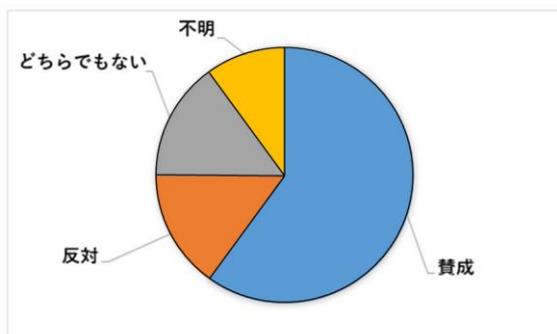
達成基準 1.4.1 色の使用

【適合レベル：A】

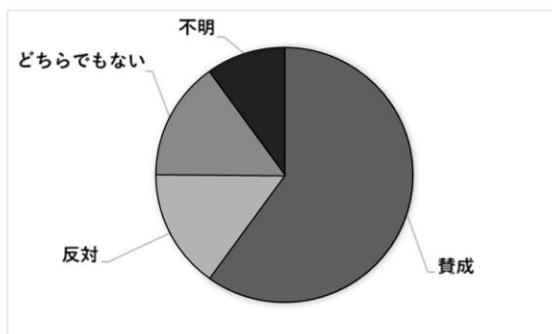
●情報の対応関係を色で区別する場合

- テキストで対応関係を補足するなど、色を識別できない場合でも、対応関係が理解できるようにする。

【カラー】



【モノクロ】



●リンクの下線

- リンクの下線を消す設定は行わない。

【WCAG2.0 達成方法】

- G14: 色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にする
- G205: 色のついたフォームコントロールのラベルに対して、テキストによる手がかりを含める
- G182: 文字色の違いが情報を伝えるために使用される場合に、利用可能な追加の視覚的な手がかりを確保する
- G183: 色が単独でリンク又はコントロールを特定する場所で、周囲のテキストと一緒に 3:1 のコントラスト比を使用し、そのリンク又はコントロールのフォーカスに追加の視覚的な手がかりを提供する
- G111: 色とパターンを併用する

達成基準 1.4.2 音声の制御

【適合レベル：A】

- 利用者へ何も通知を行わずに自動的に音を再生することはしない。(操作案内、BGM も含む。)

【WCAG2.0 達成方法】

G60: 音声の再生を 3 秒以内に自動的に停止する

G170: 自動的に再生される音声を停止するコントロールを、ウェブページの先頭付近で提供する

G171: 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

達成基準 1.4.3 コントラスト（最低限レベル）

【適合レベル：AA】

●太字でないテキストが 18 ポイント（日本語は 22 ポイント）未満、太字のテキストが 14 ポイント（日本語は 18 ポイント）未満の場合

- テキスト（及び画像化された文字）の文字色と背景色は、4.5 : 1 以上のコントラスト比を確保する。

【WCAG2.0 達成方法】

- G18: テキスト（及び文字画像）とその背景の間に、少なくとも 4.5:1 のコントラスト比を確保する
- G148: 背景色及び文字色を指定せず、その初期設定を変更するウェブコンテンツ技術の機能を使用しない
- G174: 利用者が十分なコントラストのある提示に切り替えられるように、十分なコントラスト比のあるコントロールを提供する

●太字でないテキストが少なくとも 18 ポイント（日本語は 22 ポイント）以上、太字のテキストが少なくとも 14 ポイント（日本語は 18 ポイント）以上の場合:

- テキスト（及び画像化された文字）の文字色と背景色は、3 : 1 以上のコントラスト比を確保する。

【WCAG2.0 達成方法】

- G145: テキスト（及び文字画像）とその背景の間に、少なくとも 3:1 のコントラスト比を確保する
- G148: 背景色及び文字色を指定せず、その初期設定を変更するウェブコンテンツ技術の機能を使用しない
- G174: 利用者が十分なコントラストのある提示に切り替えられるように、十分なコントラスト比のあるコントロールを提供する

- 色の組み合わせは、色覚に障害のある利用者も想定した上で、見やすい組み合わせとする。
- テキストを含む画像を作成する際は、以下の手順に従って、コントラストや色の組み合わせを確認しながら作成する。
 - Colour Contrast Analyser（カラー・コントラスト・アナライザー）最新版を使用し、コントラスト比が確保されていることを確認する
(<https://www.tpgi.com/color-contrast-checker/>)
 - Google Chrome の拡張機能「ハイコントラスト」の「反転グレースケール」を選択した状態で画像内のテキストが読み取れるようにする（確認者の主観にゆだねる）
- 他のサイトの製作元などから提供されるバナー画像など、改変が不可能な画像については、上記の基準の対象外とする。

達成基準 1.4.4 テキストのサイズ変更

【適合レベル：AA】

- 各ページのテキストサイズは、ユーザーが自由に変更できるようにするために以下のいずれかの相対単位で指定する。

- em
- %
- xx-small,x-small,small,medium,large,x-large,xx-large
- smaller,larger

例) `h1 { font-size: 2em; }`

- 以下の単位は使用しない。
 - pt
 - px
- ユーザーがブラウザの機能を用いて 200%に拡大した場合でも、文字の内容が読み取れないことや、リンクの操作ができないということが起きないようにする。

【WCAG2.0 達成方法】

G142: ズーム機能をサポートする一般に入手可能なユーザエージェントのあるウェブコンテンツ技術を使用する

C28: em 単位を用いて、テキストコンテナのサイズを指定する (CSS)

C12: フォントサイズにパーセントを使用する (CSS)

C13: 名前付きフォントサイズを使用する (CSS)

C14: フォントサイズに em 単位を使用する (CSS)

G146: リキッドレイアウトを使用する

G178: 利用者がウェブページ上のすべてのテキストを 200%まで徐々に変更できるコントロールをウェブページ上で提供する

G179: 文字サイズを変更し、かつテキストコンテナの幅を変更しないときに、コンテンツ又は機能が損なわれないようにする

達成基準 1.4.5 文字画像

【適合レベル：AA】

- 視覚的なデザインに関し、意図する表現がスタイルシートによって実現可能な場合は、テキストを画像化せずスタイルシートによって実現する。

【WCAG2.0 達成方法】

C22: テキストの視覚的提示を制御するために、CSS を使用する (CSS)

C30: テキストを文字画像に置き換えるために CSS を利用し、切り替えのためのユーザインタフェースコントロールを提供する (CSS)

G140: 異なる提示を可能にするために、情報と構造を表現から分離する

達成基準 1.4.10 リフロー [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : AA】

●文章の折り返し

- ブラウザで表示を 400%に拡大したときに、文章を折り返すなどして、横スクロールが発生しないようにする。

【WCAG2.1 達成方法】

C32: メディアクエリとグリッド CSS を使用して列をリフローする

C31: コンテンツをリフローするために CSS Flexbox を使用する

C33: 長い URL 及びテキスト文字列をリフローできるようにする

C38: CSS width、max-width、及び flexbox を用いたラベルと入力欄の配置

SCR34: テキストサイズに応じて拡大縮小するように、サイズ及びポジションを定める

G206: 利用者が横スクロールをしなくてもテキストの行を読めるようにするような、レイアウトを切り替えるオプションをコンテンツの中で提供する

達成基準 1.4.11 非テキストのコントラスト [参考 : WCAG2.1]

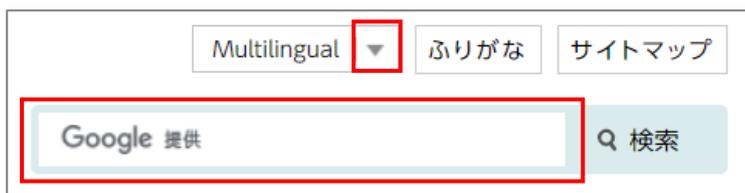
【適合レベル : AA】

●コントロールや意味を持つ画像のコントラスト

- 利用者の操作に必要な箇所や、意味を持つ画像について、その箇所と隣接した色との間で少なくとも 3:1 のコントラスト比を確保する。
- テキストについては「達成基準 1.4.3 コントラスト (最低限)」で基準が設けられているため、26 ページを参照する。

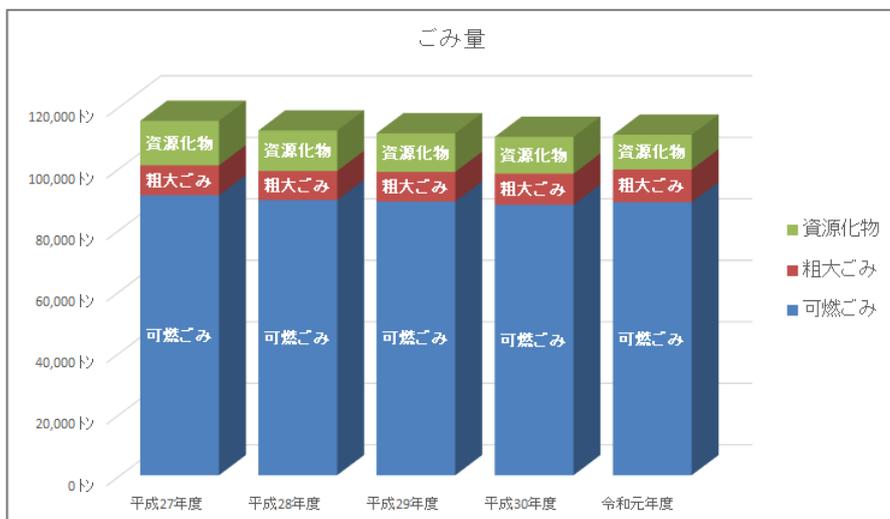
例)

「Multilingual」の右側にある下向きの三角形は、ドロップダウンリストであることを示しているため、3:1 以上のコントラスト比が必要。
また、検索のテキスト入力欄と、その枠線は、入力欄であることを示しているため、3:1 以上のコントラスト比が必要。



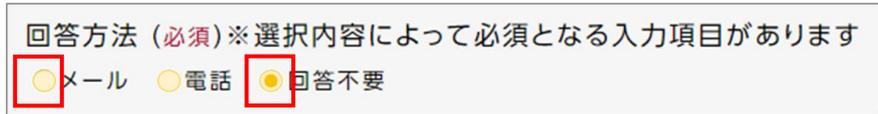
例)

グラフの隣り合う各領域の境が色で示されているため、3:1 以上のコントラスト比が必要。



例)

ラジオボタンやチェックボックス、トグルボタン等についても、3:1 以上のコントラスト比が必要。



●例外事項

- 組織又は製品のブランドのロゴ
- 人又は風景の写真などの現実の場面の絵
- グラフィックを他のどの方法でも表現できない以下のような場合
 - ウェブサイトがどのように表示されていたかを明示するスクリーンショット
 - 生物学で見られる色を使用した医療情報の図
 - ヒートマップなどの、測定結果を表す色のグラデーション

【WCAG2.1 達成方法】

- G195: コンテンツ制作者が提供する視認性に優れたフォーカスインジケータを使用する
- G174: 利用者が十分なコントラストのある提示に切り替えられるように、十分なコントラスト比のあるコントロールを提供する
- G207: アイコンに対して 3:1 のコントラスト比を確保する
- G209: 隣り合う色の境界に十分なコントラストを提供する

達成基準 1.4.12 テキストの間隔 [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : AA】

●**テキスト間隔の設定**

- テキストの間隔について以下のように設定する。
 - 行の間隔(行送り)をフォントサイズの少なくとも 1.5 倍に設定する
 - 段落に続く間隔をフォントサイズの少なくとも 2 倍に設定する
 - 文字の間隔(字送り)をフォントサイズの少なくとも 0.12 倍に設定する
 - 単語の間隔をフォントサイズの少なくとも 0.16 倍に設定する

●**テキスト間隔の確認**

- 以下のサービスを利用し、表示の重なりや欠け等の問題がないことを確認する。
text spacing bookmarklet (<http://html5accessibility.com/tests/tsbookmarklet.html>)

【WCAG2.1 達成方法】

C36: テキスト間隔を上書きできるようにする

C35: 折り返しのないテキストの間隔を見込む

達成基準 1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ

[参考：WCAG2.1]

【適合レベル：AA】

- ツールチップなどのように、マウスポインタが乗っている間や、キーボードフォーカスが当たっている間、コンテンツを表示させる場合は、以下の全てを満たすようにする。
- マウスポインタやキーボードフォーカスを動かさず、Esc キーを押すなどしてコンテンツを非表示にできる
ただし、表示されるコンテンツが、以下の場合はこの対応は不要とする
 - 入力エラーを伝える目的の場合
 - 表示されるコンテンツが他のコンテンツの上に表示されて読めなくなったり、表示を置き換えたりしない場合
 - マウスポインタが乗っている間にコンテンツを表示する場合、そのコンテンツを消すことなく、マウスポインタをコンテンツ上で動かすことができる
 - 表示されるコンテンツを利用者が非表示にする、又はそのコンテンツの情報が有効でなくなる（入力エラーを伝える目的だが、エラーが解消された、など）までは、コンテンツが表示され続ける

【WCAG2.1 達成方法】

SCR39: フォーカス又はホバー時のコンテンツをホバー可能、非表示可能及び表示が継続されるようにする

達成基準 2.1.1 キーボード

【適合レベル：A】

- ホームページ内におけるメニューやリンクの選択、情報の入力が、マウスを使わず、キーボード操作だけで利用可能であるように設計する。
 - Tab キーでリンクを移動する順序と、文書の意味の順序の間に違いが生じないようにする。
 - 入力フォームにおいて、Tab キーで入力項目を移動する順序と、入力項目の意味の順序の間に違いが生じないようにする。
 - JavaScript のイベントハンドラを使用する場合は、キーボードによる操作が可能なイベントハンドラを使用する。

- ウェブブラウザは Windows では Google Chrome や Edge、Firefox、Mac OS では Safari の最新版を使用し、メニューの選択、情報の入力が以下のキー操作で行えることを確認する。(確認の際は、キーボードのみを使用し、マウス操作は行わない。)
 - Tab キー (選択候補を順々に移動させる)
 - Enter キー (選択する)
 - 上下左右の矢印キー (ウィンドウのスクロールや、選択候補の変更)
 - 必要に応じてそのほかのキー

- 上記の作業で、選択候補の移動順序が、ページ内の情報の意味のつながりの順序と異なっていないことを確認する。

【WCAG2.0 達成方法】

G202: すべての機能に対してキーボード制御を確保する

H91: HTML のフォームコントロール及びリンクを使用する (HTML)

G90: キーボードがトリガーとなるイベントハンドラを提供する

SCR20: キーボードとその他のデバイス固有の機能を両方とも使用する (Scripting)

SCR35: アンカー及びボタンの onclick イベントを用いて、アクションをキーボード操作可能にする (Scripting)

SCR2: キーボード及びマウスのイベントハンドラを両方とも使用する (Scripting)

達成基準 2.1.2 キーボードトラップなし

【適合レベル：A】

- ページ内の一部のコンテンツ内から、キーボードのフォーカスが抜け出せないということが起きないようにする。

【WCAG2.0 達成方法】

G21: 利用者がコンテンツ内に閉じ込められないことを確認する

達成基準 2.1.4 文字キーのショートカット [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : A】

- ▶ キーボードショートカットをコンテンツに実装する場合、少なくとも次のいずれかを満たすようにする。
 - ショートカットを解除するメカニズムが利用できる
 - 一つ以上の修飾キー(例えば Ctrl や Alt など)を使用するようにショートカットを再割り当てできる
 - 該当箇所にフォーカスが当たっているときのみ有効になる

【WCAG2.1 達成方法】

G217: 利用者が文字キーのショートカットを再割り当て又は無効にできるメカニズムを提供する

達成基準 2.2.1 タイミング調整可能

【適合レベル：A】

- 利用者の入力や操作に時間制限を設けない。

【WCAG2.0 達成方法】

- G133: 複数部分で構成されるフォームの最初のページに、利用者がセッションの制限時間を延長又は解除できるチェックボックスを提供する
- G198: 利用者が制限時間を解除するための手段を提供する
- G180: 利用者がデフォルトの制限時間を 10 倍に設定できる手段を提供する
- G4: コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする

達成基準 2.2.2 一時停止, 停止及び非表示

【適合レベル：A】

●移動する画像・テキスト

- 表示されているテキストを移動させない。
- テキストを含む画像を移動させない。

●変化する画像・テキスト

- 内容が変化する画像（トップページのメインビジュアル、アニメーション GIF など）を作成する場合には、以下の基準に従う。
 - 5 秒以内に表示の変化を停止させるか、あるいは一時停止する仕組みを提供する

【WCAG2.0 達成方法】

- G4: コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする
- G11: 5 秒未満で点滅するコンテンツを制作する
- G187: ユーザエージェントによって点滅するコンテンツを停止できるウェブコンテンツ技術を使用する
- G152: (5 秒以内の) 数回のループ後に点滅を停止するように、アニメーション GIF を設定する
- G186: 動きのあるコンテンツ、点滅するコンテンツ、又は自動更新するコンテンツを停止させるコントロールを使用する
- G191: 点滅するコンテンツのないページを再読み込みするリンク、ボタン、又はその他のメカニズムを提供する

達成基準 2.3.1 3回のせん（閃）光，又はしきい（閾）値以下

【適合レベル：A】

- 画面全体または画面の一部が1秒間に3回を超えて点滅する表現は行わない。
- 画面全体または画面の一部を占めるような、縞模様、渦巻き、同心円などの規則的なパターン模様は使用しない。

【WCAG2.0 達成方法】

G19: どの1秒間においても、コンテンツに3回よりも多く閃光を放つコンポーネントがないことを確認する

G176: 閃光を放つ領域を十分に小さくする

G15: コンテンツが一般閃光閾値及び赤色閃光閾値を越えていないことを確認するためにツールを使用する

達成基準 2.4.1 ブロックスキップ

【適合レベル：A】

- ▶ ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションを読み飛ばし、ページ本文の先頭へジャンプするリンクを全ページに配置する。
 - グローバルナビゲーションを読み飛ばすリンクは、各ページにおいて、一番初めのリンクとする
 - グローバルナビゲーションを読み飛ばすリンクのリンクテキストは、キーボードで操作している肢体不自由者の利用を考慮して見える形で「本文へ」と表記する
- ▶ コンテンツを適宜見出し分けして、見出し要素でマークアップすることにより、見出し部分を拾い読みした場合に、ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションを読み飛ばすことができるようにする。
- ▶ ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションについて、箇条書き要素（UL）でマークアップする。

【WCAG2.0 達成方法】

- G1: メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する
- G123: 繰り返しているコンテンツのブロックの先頭に、そのブロックの末尾へのリンクを追加する
- G124: ページの先頭に、コンテンツの各エリアへのリンクを追加する
- ARIA11: ページのリージョンを特定するために ARIA ランドマークを使用する (ARIA)
- H69: コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する (HTML)
- H64: frame 要素及び iframe 要素の title 属性を使用する (HTML)

達成基準 2.4.2 ページタイトル

【適合レベル：A】

- 各ページに必ず title 要素を指定する。
- title 要素の内容は、全ページ共通で以下の構成とする。先頭に「ページタイトル」を記載し、全角の「|」を挟んだ後に、「姫路市」を記載する。

```
<title>ページタイトル | 姫路市</title>
```

- 上記の「ページタイトル」の部分には、以下の配慮のある名称を指定する。
 - 利用者がページの内容を想像できる
 - 利用者が他のページと閲覧中のページを識別できる
 - 複数のページで同じ内容のページタイトルを指定しない

【WCAG2.0 達成方法】

G88: ウェブページに説明的なタイトルを提供する

H25: title 要素を用いて、ページタイトルを提供する (HTML)

達成基準 2.4.3 フォーカス順序

【適合レベル：A】

- Tab キーでリンクを移動する順序と、文書の意味の順序の間に違いが生じないように構成する。

【WCAG2.0 達成方法】

G59: コンテンツ内の順番及び関係に従った順序で、インタラクティブな要素を配置する

H4: リンク、フォームコントロール、及びオブジェクトを通して、論理的なタブ順序を作成する (HTML)

C27: DOM の順序を表示順序と一致させる (CSS)

達成基準 2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）

【適合レベル：A】

- リンクテキスト（リンク画像の alt 属性を含む）について以下のいずれかの対応を行なう。
 - リンクテキストは、それだけで利用者がリンク先のページの内容を想像できるようにする
 - リンクテキストとそれを含んでいる文章等の文脈から、利用者がリンク先のページの内容を想像できるようにする

- 具体的には、以下の（１）、（２）いずれかの対応を行なう。

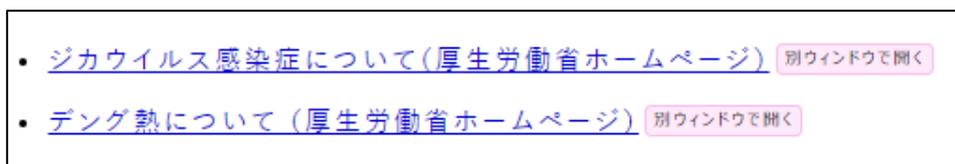
（１）以下の対応を行なう。

- リンク先ページの **title** 要素の内容あるいは、文書の主題などリンク先の内容を代表する言葉を用いる
- 「こちら」や「ここ」などの指示語だけにリンクを設定しない
- HTML ではないファイル（PDF、Excel、Word など）へリンクしている場合には、形式名とファイル容量をリンクテキストの最後にカッコ書きで加える。アプリケーションの種類を示すアイコン（alt=""とするかスタイルシートで読み込む）を添える

例)



別ドメインサイトにリンクしている場合には、リンクテキストの最後にカッコ書きでサイト名を加える。



（２）リンクテキストの前後の文脈から理解できるようにする。

- 例) あるページに「姫路駅北にぎわい交流広場イベント開催予定」という文がある。そのうち「開催予定」の部分がリンクである

【WCAG2.0 達成方法】

- G91: リンクの目的を説明したリンクテキストを提供する
- H30: a 要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する (HTML)
- H24: イメージマップの area 要素にテキストによる代替を提供する (HTML)
- G189: ウェブページの先頭近くに、リンクテキストを変更するコントロールを提供する
- G53: リンクテキストとそれが含まれている文中のテキストとを組み合わせ、リンクの目的を特定する
- H33: title 属性を用いて、リンクテキストを補足する (HTML)
- C7: リンクテキストの一部を非表示にするために、CSS を使用する (CSS)
- ARIA7: リンクの目的を示すために aria-labelledby を使用する (ARIA)
- ARIA8: リンクの目的を示すために aria-label を使用する (ARIA)
- H77: リンクテキストとそれが含まれているリスト項目とを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)
- H78: リンクテキストとそれが含まれている段落とを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)
- H79: リンクテキストとそれが含まれているデータセル及び関連づけられた見出しセルとを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)
- H81: リストが入れ子になっている状況で、親のリスト項目と結合したリンクテキストを用いて、入れ子になったリストの中でリンクの目的を特定する (HTML)

達成基準 2.4.5 複数の手段

【適合レベル：AA】

➤ サイト内の全ページに、以下を設置する。

- サイトマップへのリンク
- サイト内の全文検索機能

【WCAG2.0 達成方法】

G125: 関連するウェブページへナビゲートするリンクを提供する

G64: 目次を提供する

G63: サイトマップを提供する

G161: 利用者がコンテンツを見つけるのを手助けするために検索機能を提供する

G126: 他の全てのウェブページへのリンク一覧を提供する

G185: ホームページからサイト上の全てのウェブページにリンクする

達成基準 2.4.6 見出し及びラベル

【適合レベル：AA】

- 見出しの内容は、章や節などの内容を理解できるものとする。
- 入力フォームにおける項目名（ラベル）は、その項目の内容を表したものとする。
- 表示を拡大したり、動画を再生するなどのコントロールを行なう機能を提供する場合は、その機能を的確に表した名称（ラベル）を明示する。

【WCAG2.0 達成方法】

G130: 説明的な見出しをつける

G131: 説明的なラベルを提供する

達成基準 2.4.7 フォーカスの可視化

【適合レベル：AA】

- ウェブブラウザは Windows では Google Chrome や Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Mac OS では Safari の最新版を用いて TAB キーで操作した場合に、ページ内のリンクテキストやリンク画像、フォーム等の選択候補を視覚的に認識可能であることを確認する。
- スタイルシートを用い、Tab キーで選択候補を変更した際にリンクを反転表示するなど視覚的に分かりやすく変化するよう設定する。

【WCAG2.0 達成方法】

- G149: フォーカスを受け取る時に、ユーザエージェントによって強調されるユーザインタフェースコンポーネントを使用する
- C15: ユーザインタフェースコンポーネントがフォーカスを受けとったときの提示を変更するために、CSS を使用する (CSS)
- G165: 視認性の高いデフォルトのフォーカスインジケータが引き継がれるように、プラットフォームデフォルトのフォーカスインジケータを使用する
- G195: コンテンツ制作者が提供する視認性に優れたフォーカスインジケータを使用する

達成基準 2.5.1 ポインタのジェスチャ [参考：WCAG2.1]

【適合レベル：A】

- 指やタッチペン等が2本以上（マルチポイント）必要な操作や、マウスや指、タッチペンがなぞる動き（軌跡ベースのジェスチャ）で操作する機能がある場合、クリックやタップで操作できることを確認する。
- タッチスクリーン上でのピンチやマルチポイントによる操作を用いて地図や表示画面の拡大縮小などの機能を実装する場合は、指やタッチペンが1本で操作が出来るように拡大縮小の機能をもったボタンを併せて実装する。
- スライダーを左右に動かすなどの動きを使って操作する機能を提供する場合は、スライダーの値をタップやクリックで設定できる機能を併せて実装する。

【WCAG2.1 達成方法】

G215: 軌跡ベース又はマルチポイントのジェスチャと同等の結果を得られるコントロールを提供する

G216: コントロールスライダーのためにアクティブにするシングルポイントを提供する

達成基準 2.5.2 ポインタのキャンセル [参考：WCAG2.1]

【適合レベル：A】

- クリックやタップなどにより操作する機能は、以下の要件を満たす。
 - 指等で触れただけ、あるいはクリックを押下しただけで離さない状態で実行されないようにする
 - 誤ってタップやクリックをした場合に、指を離す、あるいは押下したクリックを離すまでにキャンセルできる
(触れたあとに機能の領域の外で指を離すことで実行されない、など)

- なお、以下の場合は対応しなくてよい。
 - タップしている間だけポップアップが表示され、離すと表示が消えるような場合
 - 触れただけで実行することが必要不可欠で他の方法による代替が不可能な場合 (例：ピアノの鍵盤のアプリなど)

【WCAG2.1 達成方法】

G210: ドラッグ&ドロップ操作をキャンセルできるようにする

G212: ネイティブコントロールを使用して、アップイベントで機能がトリガーされるようにする

達成基準 2.5.3 名前 (name) のラベル [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : A】

- コントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）のラベル（視覚的に表示されたもの）と、Accessible Name を一致させる。
- または、コントロールのラベル（視覚的に表示されたもの）の内容を、Accessible Name の内容に含める。

例) 以下はラベルと title 属性の値が一致していないため修正が必要である。

```
<form action="/search.html">  
<p class="label">キーワードで探す</p>  
<input type="text" name="q" value="" title="検索ワードを入力して下さい">  
<input type="submit" value="検索">  
</form>
```

●Accessible Name

- Accessible Name and Description Computation 1.2
(<https://www.w3.org/TR/accname-1.2/>)

【WCAG2.1 達成方法】

G208: アクセシブルな名前 (accessible name) の一部として可視ラベルのテキストを含める

G211: アクセシブルな名前 (accessible name) を視覚的なラベルと一致させる

達成基準 2.5.4 動きによる起動 [参考 : WCAG2.1]

【適合レベル : A】

- スマートフォンやタブレットなどのデバイス本体を傾けたり、動かすことで操作するような機能を実装する場合や、カメラに向かって利用者が動いて見せてその動きで操作するような機能を実装する場合は、以下を満たす。
- デバイスの動きや利用者の動き以外の方法で操作できる
 - 偶発的な誤操作を防ぐためデバイスの動きや利用者の動きで操作するような機能をオフにできる

【WCAG2.1 達成方法】

G213: 動きで作動させる入力のために、従来のコントロール及びアプリケーション設定を提供する

達成基準 3.1.1 ページの言語

【適合レベル：A】

- 各ページの html 要素に lang 属性を指定する。

例) 日本語の場合：

```
<html lang="ja">
```

【WCAG2.0 達成方法】

H57: html 要素の言語属性を使用する (HTML)

達成基準 3.1.2 一部分の言語

【適合レベル：AA】

- 本文中で日本語以外の言語が現れる場合には、そのつど lang 属性を用いて言語コードを指定する。

【WCAG2.0 達成方法】

H58: 自然言語の変更を指定するために、言語属性を使用する (HTML)

達成基準 3.2.1 フォーカス時

【適合レベル：A】

- 1 ページ内の全てのコンテンツについて、キーボードフォーカスを受け取った際に、自動的に状況の変化が起きないようにする。
 - 入力フォームについて、送信ボタンがキーボードフォーカスを受け取った際に、自動的に送信されることがないようにする
 - リンクやリンク画像などについて、キーボードフォーカスを受け取った際に、自動的にページが遷移したり新しいウィンドウが開いたりしないようにする
 - プルダウンメニューなどについて、フォーカスを受け取った際に、自動的にページが遷移したり新しいウィンドウが開いたりしないようにする

【WCAG2.0 達成方法】

G107: コンテキストの変化に対するトリガーとして、"focus" ではなく、
"activate" を使用する

達成基準 3.2.2 入力時

【適合レベル：A】

- 利用者が意図的に実行操作することなく、フォームの入力内容が送信されたり、ウィンドウが新しく開かれたりすることがないようにする。

【WCAG2.0 達成方法】

G80: コンテキストの変化を開始する送信ボタンを提供する

H32: 送信ボタンを提供する (HTML)

H84: アクションを実行するために、`select` 要素とともにボタンを使用する (HTML)

G13: コンテキストの変化を引き起こすフォームコントロールへの変更が行われる前に、何が起こるのかを説明する

達成基準 3.2.3 一貫したナビゲーション

【適合レベル：AA】

- システム要件などでやむを得ない場合を除き、すべてのページに共通のグローバルナビゲーションを配置する。
- ヘッダー及びフッター、グローバルナビゲーションなど、サイト全体で共通に提供するナビゲーションのリンクは、ページの中での配置位置、リンクの表示順序を同じとする。

【WCAG2.0 達成方法】

G61: 毎回同じ相対的順序で繰り返されるコンポーネントを提示する

達成基準 3.2.4 一貫した識別性

【適合レベル：AA】

- ▶ 同じ機能を持ったコンテンツについて、名称（ラベル）、視覚的な表現をサイト全体で同一とする。
 - 多くのページで提供されるリンク（サイトマップへのリンク、トップページへ戻るリンク、ページの上端へ移動するリンクなど）
 - リンク画像、リンクに添えられるアイコン画像
 - 箇条書きの先頭などに用いられる画像

【WCAG2.0 達成方法】

G197: 同じ機能を有するコンテンツに対して、一貫したラベル、名前（name）及びテキストによる代替を使用する

達成基準 3.3.1 エラーの特定

【適合レベル：A】

- 必須の入力項目に入力が行なわれていない場合、その箇所を通知する説明文を提供する。
- 特定の形式や値の入力が求められる項目に誤った入力が行なわれた場合、そのことを通知する説明文を提供する。

【WCAG2.0 達成方法】

G83: 入力完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

ARIA21: エラーフィールドを示すために `aria-invalid` を使用する (ARIA)

ARIA18: エラーを特定するために `aria-alertdialog` を使用する (ARIA)

ARIA19: エラーを特定するために、`ARIA role=alert` 又はライブリージョン (Live Regions) を使用する (ARIA)

G84: 利用者が許可された値のリストにない情報を与えた場合に、テキストの説明を提供する

G85: 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値の範囲外の場合に、テキストの説明を提供する

達成基準 3.3.2 ラベル又は説明

【適合レベル：A】

●ラベル

- コントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の目的を的確に表すラベルを提供する。
- フォームのラベルと対応するコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）を id 属性と label 要素内の for 属性により、関連付けを行う。
- input type="checkbox"または input type="radio"の場合は、label 要素は input の後に配置する。

例)

```
<p>  
  <input type="radio" name="sex" value="ma" id="male">  
  <label for="male">男性</label>  
  <input type="radio" name="sex" value="fe" id="female">  
  <label for="female">女性</label>  
</p>
```

- 複数のコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）が並列の関係で提供される場合は、fieldset 要素及び legend 要素を用いて複数のコントロールがひとまとまりのグループであることを示すと同時に、そのグループの名称あるいは説明を提供する。
- キーワード検索の入力ボックスのように、視覚的に入力欄の目的が明確で、ラベルを画面に表示することによりかえって視覚的なデザインが阻害され分かりにくくなることが想定される場合は、label 要素を用いず title 属性を用いてコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の目的を説明する。

●入力に関する説明

- 入力方法や入力の制約がある場合は、必ず「入力欄の前に」説明を配置する。特に以下のような制約事項がある場合は明記する。
 - 入力の必須／未必須
 - 入力文字数
 - カタカナ／ひらがな
 - 全角／半角

- 大文字／小文字
- ハイフン(-)の必要／不要

【WCAG2.0 達成方法】

G131: 説明的なラベルを提供する、かつ、次のどれか一つを用いる

ARIA1: ユーザインタフェース コントロールに対する説明ラベルを提供するために、`aria-describedby` プロパティを使用する (ARIA)

ARIA9: 複数のテキストノードをつなげて一つのラベルにするために、`aria-labelledby` を使用する (ARIA)

ARIA17: 関連するフォームコントロールを特定するために、グルーピングロールを使用する (ARIA)

G89: 期待されるデータ書式及び入力例を提供する

G184: フォーム又はテキストフィールド一式の先頭に、必須の入力を記述するテキストの説明を提供する

G162: 関係性を最大限に予測できるようにするためにラベルを配置する

G83: 入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

H90: `label` 要素又は `legend` 要素を使用して、必須のフォームコントロールを明示する (HTML)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、`label` 要素を使用する (HTML)

H71: `fieldset` 要素及び `legend` 要素を使用して、フォームコントロールのグループに関する説明を提供する (HTML)

H65: `label` 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、`title` 属性を使用する (HTML)

G167: テキストフィールドの目的をラベル付けするために隣接するボタンを用いる

達成基準 3.3.3 エラー修正の提案

【適合レベル：AA】

- 修正候補を提示可能な入力項目については、入力エラーが起きた際に、修正候補を提示する。

【WCAG2.0 達成方法】

G83: 入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

ARIA2: `aria-required` プロパティによって必須項目を特定する (ARIA)

ARIA18: エラーを特定するために `aria-alertdialog` を使用する (ARIA)

G85: 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値の範囲外の場合に、テキストの説明を提供する

G177: テキストの修正候補を提示する

G84: 利用者が許可された値のリストにない情報を与えた場合に、テキストの説明を提供する

達成基準 3.3.4 エラー回避（法的、金融及びデータ）

【適合レベル：AA】

- 送信前に、フォーム入力内容の確認画面を提示する。
- 利用者が必要に応じて、送信前に修正を行えるようにする。（入力画面へ戻るリンクを用意するなど。）

【WCAG2.0 達成方法】

- G164: オンラインリクエスト後に、利用者がそのリクエスト（又はトランザクション）を修正又はキャンセルできる一定の時間を提供する
- G98: 送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする
- G155: 送信ボタンに加えてチェックボックスを提供する
- G99: 削除した情報を復元する機能を提供する
- G168: 選択されたアクションを続行するために確認を求める

達成基準 4.1.1 構文解析

【適合レベル：A】

- HTML について、納品前に以下のサービスを利用し、エラーが出ないことを確認する。「Error」の場合は不可とする。

Nu Html Checker (<https://validator.w3.org/nu/>)

【WCAG2.0 達成方法】

G134: ウェブページをバリデートする

G192: 仕様に完全に準拠する

H88: 仕様に準じて HTML を使用する (HTML)

H74: 開始タグ及び終了タグを仕様に準じて使用していることを確認する (HTML)

H93: ウェブページの id 属性値が一意的 (ユニーク) であるようにする (HTML)

H94: 要素には重複した属性がないようにする (HTML)

H75: ウェブページが well-formed であることを確認する (HTML)

達成基準 4.1.2 名前(name)、役割(role)及び値(value)

【適合レベル：A】

- HTML について、納品前に以下のサービスを利用し、エラーが出ないことを確認する。「Error」の場合は不可とする。

Nu Html Checker (<https://validator.w3.org/nu/>)

- フォームのラベルと対応するコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）を id 属性と label 要素内の for 属性により、関連付けを行う。
- input type="checkbox"または input type="radio"の場合は label 要素は input の後に配置する。

例)

```
<p>
  <input type="radio" name="sex" value="ma" id="male">
  <label for="male">男性</label>
  <input type="radio" name="sex" value="fe" id="female">
  <label for="female">女性</label>
</p>
```

- キーワード検索のテキストボックスのように、ラベルとなりうるテキストを画面に表示する必要が無い場合や、ラベルを表示することで混乱を引き起こしてしまう場合は、title 属性を用いてコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の名称あるいは役割を示す。
- iframe 要素を使用する場合は、各要素に title 属性を指定する。title 属性の値は、各インラインフレームを特定できるテキストとする。

【WCAG2.0 実装方法】

ARIA14: 可視ラベルが使用できない場所で不可視ラベルを提供するために、aria-label を使用する (ARIA)

ARIA16: ユーザインタフェース コントロールの名前 (name) を提供するために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

G108: 名前 (name) 及び役割 (role) を公開し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にして、変化の通知を提供するために、マークアップを用いる

H91: HTML のフォームコントロール及びリンクを使用する (HTML)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素

を使用する (HTML)

H64: frame 要素及び iframe 要素の title 属性を使用する (HTML)

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

H88: 仕様に準じて HTML を使用する (HTML)

G135: 名前 (name) 及び役割 (role) を公開し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にして、変更の通知を提供するためのウェブコンテンツ技術のアクセシビリティ API 機能を使用する

G10: 名前 (name) 及び役割 (role) を取得し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知するためにユーザエージェントが動作する、プラットフォームのアクセシビリティ API 機能をサポートするウェブコンテンツ技術を用いて、コンポーネントを作成する

ARIA4: ユーザインタフェース コンポーネントの役割 (role) を明示するために、WAI-ARIA ロールを使用する (ARIA)

ARIA5: ユーザインタフェース コンポーネントの状態 (state) を明示するために、WAI-ARIA ステート及びプロパティ属性を使用する (ARIA)

達成基準 4.1.3 ステータスメッセージ [参考：WCAG2.1]

【適合レベル：AA】

- 画面内に利用者の操作が成功したことや失敗したことを伝えたり、待機中である状況を伝える文章などを表示したりするものを、ステータスメッセージという。音声読み上げソフトでは、フォーカスが当たっていない文章は読まれないため、ステータスメッセージを表示する場合は、音声読み上げソフトが適切に読み上げるように構築し、問題なく読まれることを確認する。

- 利用者の操作の成功や操作の結果、状態を示す場合

- role 属性の"status"を使用する

【WCAG2.1 達成方法】

ARIA22: ステータスメッセージを提示するために role=status を使用する

G199: データが正常に送信されたときに、フィードバックを提供する

- 利用者への提案や警告を伝える場合

- role 属性の"alert"や、aria-live 属性を使用する

【WCAG2.1 達成方法】

ARIA19: エラーを特定するために、ARIA role=alert 又はライブリージョン (Live Regions) を使用する

G83: 入力完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

G84: 利用者が許可された値のリストにない情報を与えた場合に、テキストの説明を提供する

G85: 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値の範囲外の場合に、テキストの説明を提供する

G177: テキストの修正候補を提示する

G194: テキスト入力に対するスペルチェック及び修正候補を提供する

- 状況の進行状況を伝える場合

- role 属性の"log"や aria-live=assertive 属性を使用する

【WCAG2.1 達成方法】

ARIA23: 逐次的な情報更新を識別するために `role=log` を使用する
ARIA22: ステータスメッセージを提示するために `role=status` を使用する
G193: Providing help by an assistant in the Web page